OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	ごあいさつ
Author(s)	田口, 鐵男
Citation	癌と人. 2010, 37, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23573
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ご あ い さ つ

理事長　田 口 鐵 男*

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は，財団法人大阪癌研究会に格別のご支援ご協力を賜り，また，本会誌をご愛読いただき厚くお礼申し上げます。

本財団は，昭和10年に，大阪財界・有志の方々のご支援により，本財団の前進である「大阪癌治療研究会」が設立されました。

その後，昭和39年に「癌に関する学術研究助成事業と癌に関する知識の普及活動」を目的として，「財団法人大阪癌研究会」と名称を改め今日に至っております。

この間，深いご理解とご支援いただきました企業を始め多くの方々，さらには，賛助会員の皆様方に，改めて心からお礼申し上げます。

なお，今後は新しく制定された公益法人制度による「公益財団法人」を目指して，時代の要請をも考慮しつつ事業を展開し，公益法人としての使命を果たしたく努力してまいる所存であります。

そこで，本財団をより一層ご理解いただくために，設立当初から今日までに実施してまいりました事業の代表例をいくつかご紹介させていただきます。

1，設立当初は，ラジウムによる癌の治療研究とラジウムにより作成されたラドンを治療用に供し，多大な成果を上げ先駆者としての役目を終え，昭和39年にこの事業を終了しました。

2，昭和43年から，大阪大学の協力を得て，乳癌と大腸癌の集団検診を実施し，癌の早期発見に大いなる成果を上げました。この成果により多くの医療機関等で実施可能となり，平成5年その役目を終え本事業を終了いたしました。

3，昭和48年から本会誌「癌と人」を刊行し，主に一般市民に無償配布し，癌に関する知識の普及活動に鋭意努力しております。この事業は現在も実施しております。

4，昭和61年から，「一般学術研究助成事業」として，全国の約130の研究機関から癌に関する研究を公募のうえ，優秀な研究に研究費を助成し，癌研究の進展に一翼を担っております。これまで延268名総額134,000千円を助成し，現在も多くの方々から応募いただいております。

5，平成9年に，「癌臨床試験研究助成事業」を新設し，癌に関するシンポジウム・講演会・研究会等の経費の一部を助成し，平成21年度までに，延べ149件総額776,933千円を助成してまいりました。

これからも引き続き，癌医学の発展に貢献し，本財団の社会的使命を果たしたく念じておりますので，今後とも皆様方の力強いご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

*㈶大阪癌研究会理事長，大阪大学名誉教授